

明野小学校 Q & A

この資料は、保護者・地域の皆様に明野小学校の教育をより一層ご理解いただくことを目的として作成したものです。

Q1. 明野小ってどんな学校なの？

A 現在児童数357名（R3.3.1現在）、学級数15学級（スマイル（特別支援）学級含む）で市内中央部にあり、拓進小、ウトナイ小、拓勇小に次ぐ、小学校では市内4番目に新しい学校（創立27年目）です。

Q2. 教育目標は？

A 本校は開校時より「**未来社会を築く力を身に付ける児童の育成（進んで学ぶ子 思いやりの心をもつ子 じゃぶな体をつくる子）**」を恒常的な教育目標として掲げています。

Q3. 今の明野小の子どもってどんな感じ？課題（育てたい力）は？

A 明野小学校の子どもは、穏やかで心の優しい子どもが多いです。また、言われたことには素直に取り組み、力を発揮することもできますが、自分で判断したり、自分から進んで行動したりする面に課題が見られます。本校では、「人を大切に」「自分の考えをもつ」「自分の考えを表現する」「チャレンジする」という4点を中心に、子どもの知・徳・体をバランスよく育てていきたいと考えています。特に、変化の激しい社会を生きていくために、**課題に示した「チャレンジする（自主性・主体性）に今年度重点**において、現在教育活動の改善を図っているところです。

Q4. 令和3年度はどんな学校を目指すの？

A ①地域・家庭との信頼関係づくり
②コロナ対策・働き方を踏まえた教育活動づくり
③学びと生活の環境づくり
この3点を新年度大切にしながら、教育活動を進めてまいります。詳しくは、4月に説明する機会を設けたいと考えています。

Q5. 学力向上のための策は？

A 児童一人一人に「確かな学力」を身に付けさせるために、特に本校では①（指導力の向上）分かりやすい授業づくり、②（学習規律）**明野小守ろう8箇条**の徹底、③（家庭学習）家庭で計画的に取り組めるような家庭学習の出し方などについて全職員共通理解の基、取り組んでいます。児童の実態を把握しながら、学習したことが確実に定着できるよう学習指導の工夫・改善に努めていきます。

Q6. 8箇条って何？

A1 チャイムの合図で授業を始めよう。
2 元気な声であいさつをしよう
3 正しい姿勢で学習しよう。
4 名前を呼ばれたら、大きな声で返事をしよう。
5 まっすぐ手を挙げ、発表しよう。
6 話す人を見ながら最後まで聞こう。
7 必要のないものは、机の上に置かない。
8 授業後は、学習用具を片付け、次の学習の準備をしよう。
この8点が本校の学習規律です。

Q7. プロジェクト活動って何？どういう力がつくの？

A プロジェクト活動とは、**子どもの主体性を育むための活動**です。「明野小学校を明野小に通う全員にとって、もっと楽しく、居心地の良い場所にすること」を目的に、自分たちで考え、話し合い、活動を具体化していきます。決められたことを決められた通りに行うのではなく、一から自分たちで作り出していくところに活動の価値があり、主体性が育まれていきます。昨年度は10のプロジェクトが生まれましたが、途中で中止になってしまいました。今年度こそ子どもたちの力を発揮させたいと思います。ご期待下さい。

Q8. 運動会から「スポーツフェスティバル」の意義は？

A 運動に親しむ行事を通して、これまで以上に「**自主性**」と「**主体性**」を育てることをねらいとしています。子供達が実行委員会を組織し、企画・運営を行うことで、その思いや願いをより生かせるようにします。また、縦割り班を基本とした活動・種目を取り入れることで、集団の一員である意識や人間関係を深め、子供達の活躍の場を増やします。子供同士で相談したり練習したりする時間を十分に確保し、教職員はその思いを受け止めながら、共に考え、適切にサポートします。
そうすることで、より自ら考えたり、協力したりしながら行動できる子になっていくと考えます。新年度は、コロナの状況を踏まえて、取組・内容に修正を加えていきます。

Q9. 「文化フェスティバル」ってどんなことをする予定なの？

A 文化フェスティバルのキーワードは「人」です。歌や器楽などの発表や作品展示など文化的な表現活動を通して、子どもたちが、「人から学ぶことが楽しい！」「人に伝えることがおもしろい！」と感じてほしいと考えています。そして、「人」と関わることで、みんなの「よさ」や自分の「よさ」を発見し、「**自分を成長させよう！**」と、**進んでチャレンジする子どもたちを育てていきたい**と考えています。新年度は、コロナの状況をふまえて、取り組みや内容に修正を加えていきます。

Q11. たて割班遠足ってどんなことをする予定？

A たて割り班遠足では、6年生が全体のリーダー、5年生が活動場所までの誘導など、それぞれの学年に役割を設定し、縦割り班グループの中で児童一人一人が活躍できる場面を設定します。遠足当日までは、自分たちで目的地を決めたり、持ち物や現地でする内容を考えたりすることを通じて、異学年の子どもたち同士がコミュニケーションを取り合って、準備を進めていきます。
遠足の本来の目的である、**みんなで楽しんだり、集団行動の大切さを身につけさせたりするだけでなく、たて割り班にすることによって、遠足を子どもたち自身の手で、主体的につくりあげる**というプラスアルファの効果をねらっています。

Q12. 校内生活の課題は？

A 学校・保護者・児童それぞれのアンケート結果より、7・8割程度の児童が、挨拶ができ、学校の決まりを守ることができています。さらに学校生活をより良いものにしていくためには、全ての児童が、「**誰に対しても自分から挨拶をする**」「**廊下や階段を走らずに歩く**」「**時間を守る**」ことが課題であり、今後はそれを重点的に指導していきます。具体的には、今まで学期ごとの生活目標を月ごとに変更し、強化週間を設定して、定着を目指します。

Q13. 生活習慣で力を入れていくことは？

A 子どもたちが、心身ともに健康ではつらつと学校生活を送るため、「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」の基本的な生活習慣を身に付けられるよう、学期に1回、1週間の「さわやかリズム週間」を実施しています。現在、「**早寝・朝うんち**」が本校児童の課題であり、保健便り等を通して、さわやかリズム週間の結果や規則正しい生活リズムの大切さについて啓発しています。今後も、御家庭の協力をいただきながら、継続的に取り組んでいきます。

Q14. 「スタートカリキュラム」って、なんで必要なの？

A 「スタートカリキュラム」とは、入学したばかりの児童がスムーズに学校生活へ適応していけるよう学習内容を編成したものです。文部科学省から推奨されており、本校では入学後3週間程度、幼稚園や保育所、認定こども園などで行ってきた歌や手遊び、絵本の読み聞かせ、簡単なゲームなどを取り入れ、児童が安心して学校生活をスタートできるようにしています。

Q15. そもそも何でこんな資料を発行したの？

A 学校評価（保護者アンケート）や保護者の皆様からの問い合わせ等から、本校の教育活動のねらいや意図が十分にお伝えできていないことがわかりました。お子様の教育は、学校と家庭が車の両輪ようになって進めていくことでより一層の効果が期待でき、よりよい成長につながると考えています。これから情報発信を心がけ、保護者の皆様の願いを受け止めながら本校の教育活動を進めてまいります。

不明な点がございましたら、学校にお問い合わせください。この資料はホームページに掲載し、必要に応じて更新する予定です。